

U.S. Indicators

米国 内外需要の拡大により堅調さ維持(17年2月耐久財受注)

公表日：2018年3月23日（金）

～ただし機械設備投資は18年前半に減速～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

	出荷				耐久財受注				在庫			
	除く輸送機器			非国防資本財 除く航空機	除く輸送機器			非国防資本財 除く航空機	除く輸送機器			非国防資本財 除く航空機
17/02	+0.4	+0.7	(+5.1)	+1.2	+1.4	+0.3	(+5.1)	+0.1	+0.2	+0.4	+0.3	
17/03	▲0.1	+0.1	(+4.9)	+0.2	+2.4	+0.9	(+6.3)	+0.0	+0.3	+0.5	+0.7	
17/04	▲0.2	▲0.1	(+4.7)	+0.2	▲0.8	▲0.4	(+5.0)	+0.3	+0.2	+0.3	▲0.1	
17/05	+1.3	+0.7	(+5.6)	+0.3	▲0.0	+0.8	(+6.3)	+0.8	+0.2	+0.4	+0.1	
17/06	▲0.0	+0.3	(+5.7)	+0.6	+6.4	▲0.0	(+6.8)	▲0.1	+0.5	+0.8	+1.0	
17/07	+0.1	+0.0	(+5.3)	+1.0	▲6.8	+0.8	(+5.8)	+1.3	+0.5	+0.4	+0.1	
17/08	+0.7	+1.2	(+6.1)	+1.3	+2.1	+0.8	(+6.8)	+1.4	+0.5	+0.7	+0.5	
17/09	+1.2	+1.1	(+7.1)	+1.3	+2.4	+1.3	(+8.2)	+2.3	+0.6	+0.5	+0.4	
17/10	+0.5	+1.0	(+7.4)	+1.2	▲0.4	+1.4	(+8.6)	+0.8	+0.2	+0.3	▲0.0	
17/11	+1.3	+0.6	(+7.5)	+0.3	+1.7	+0.4	(+7.6)	+0.1	+0.3	+0.5	+0.3	
17/12	+0.5	+1.0	(+7.1)	+0.7	+2.7	+0.8	(+8.5)	▲0.5	+0.5	+0.5	+0.6	
18/01	+0.5	+0.3	(+7.1)	+0.1	▲3.5	▲0.2	(+7.1)	▲0.4	+0.4	+0.3	+0.1	
18/02	+0.9	+1.0	(+7.4)	+1.4	+3.1	+1.2	(+8.1)	+1.8	+0.4	+0.3	+0.3	

2月の耐久財受注は前月比+3.1%、除く輸送機器は同+1.2%とともに増加に転じた

18年2月の耐久財受注は、変動の大きい輸送機器の増加により前月比+3.1%（前月同▲3.5%）と増加に転じたうえ、市場予想の+1.6%を上回った。また、変動の大きい輸送機器を除いた耐久財受注は、前月比+1.2%（前月同▲0.2%）と増加に転じ、市場予想の+0.5%を上回った。国内需要に加えて、海外需要の拡大を背景に、耐久財全体、除く輸送機器はともに拡大基調を維持している。

業種別では、コンピューター・電子製品関連が減少した一方、輸送機器、その他耐久財が増加に転じたほか、一次金属、加工金属、一般機械、電気機械関連が加速した。規模の最も大きい輸送機器では、需要の強い自動車が増加し、民間航空機、軍用航空機が増加に転じた。

また、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率をみると、2月の耐久財受注は+9.7%（前月+12.0%）と小幅鈍化した。また、基調を示す輸送機器を除く耐久財受注は+7.3%（前月+9.2%）と小幅減速した。耐久財受注はやや勢いを弱めたものの、堅調さを維持している。

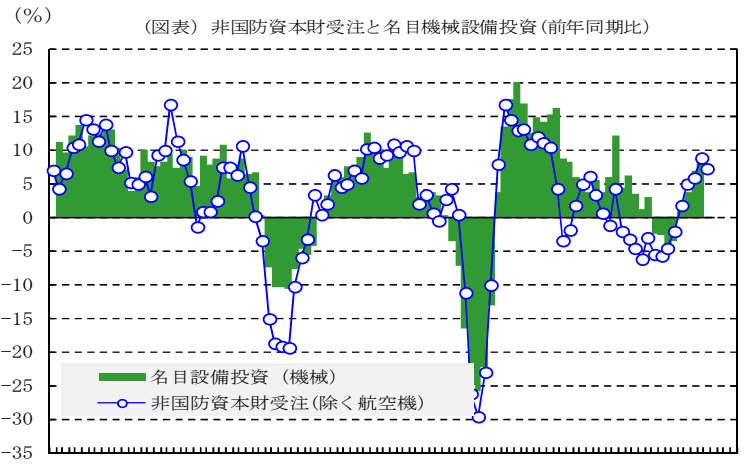
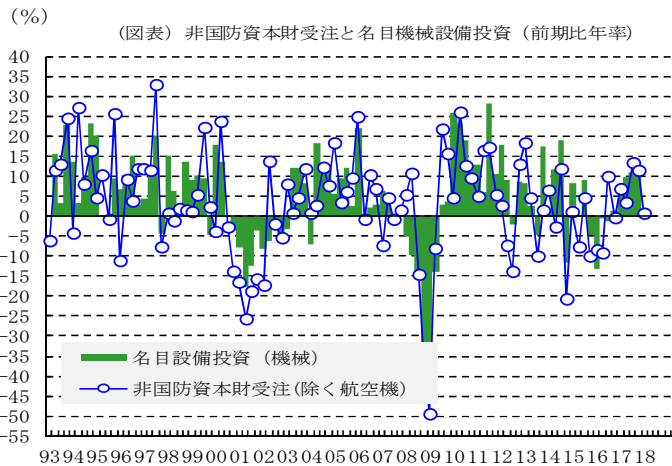
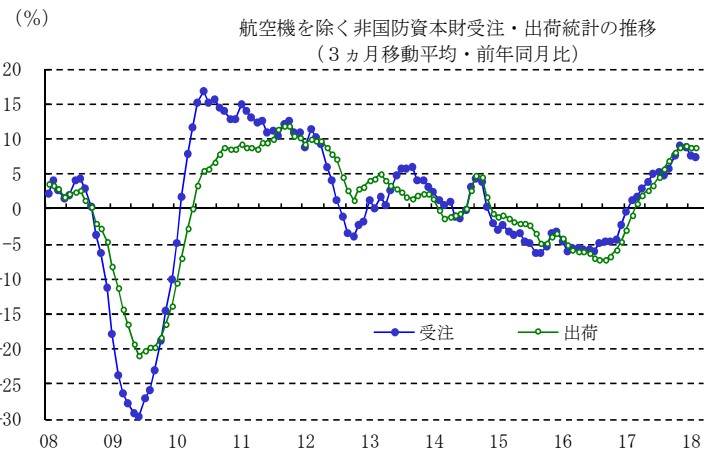
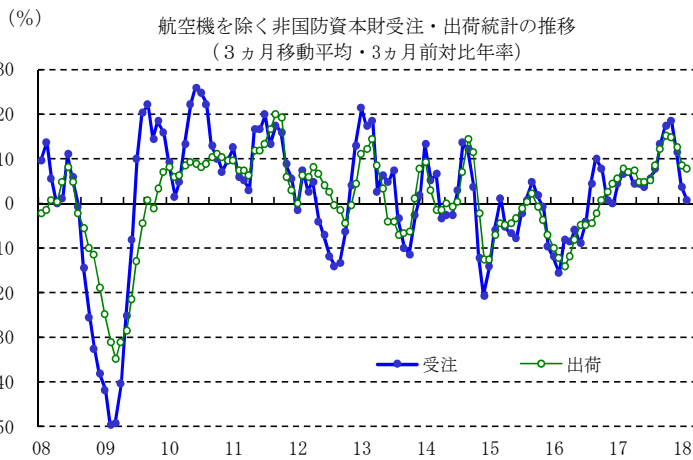
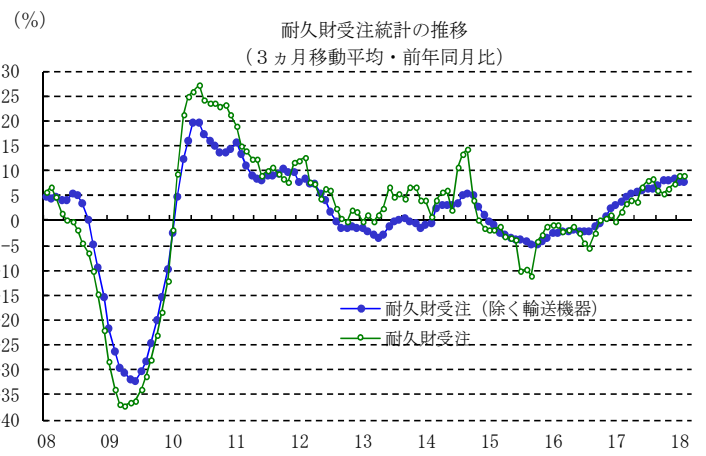
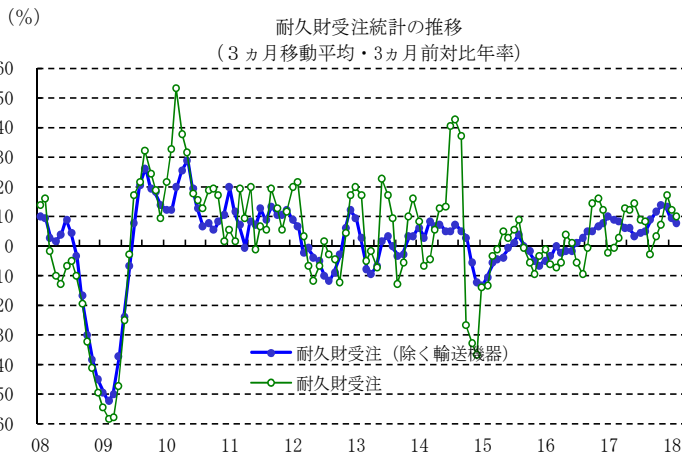
さらに、18年1、2月期の前年比でみると、耐久財受注は+9.1%、輸送機器を除く耐久財受注が+8.5%と堅調なペースで拡大。業種別で伸び率の高い順にみると、民間航空機が+47.3%、商品市況の上昇により一次金属が+13.7%、加工金属が+12.2%、一般機械が+9.8%、自動車・同部品が+7.3%、コンピューター・電子製品関連が+6.1%、電気機械・同部品が+1.3%と続いた。一方、軍用航空機は▲25.4%と減少した。

2月の非国防資本財出荷が前月比+1.4%と加速、受注は+1.8%と増加に転じた

設備投資関連では、機械設備投資の一致指標である非国防資本財出荷（除く航空機）が2月に前月比+1.4%（前月同+0.1%）と加速したうえ、市場予想の同+0.5%を上回った。四半期でみると、1-2月は、10-12月期比年率+5.6%（10-12月期同+12.5%）と前期の高い伸びの反動によって減速しており、1-3月期の機械設備投資の鈍化を示している。ただし、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で+7.6%（前月+

8.5%)と高い伸びを維持していることから、機械設備投資は拡大基調を維持していると判断される。

機械設備投資の先行指標である非国防資本財受注（除く航空機）は、2月に前月比+1.8%（前月同▲0.4%）と増加に転じたうえ、市場予想の+0.9%を上回った。しかし、1-2月期は10-12月期比年率+0.7%（10-12月期同+11.4%）と大幅鈍化となった。さらに、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で+0.6%（前月+3.7%）と鈍化し、低い伸びにとどまっている。経営者マインドの改善や企業業績の拡大が続いているものの、税制改革の影響を評価するために企業は一時的に様子見姿勢を強めたとみられ、18年前半の機械設備投資は、緩やかな拡大にとどまると予想される。



(出所) 米商務省データより作成

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。